

校歌・応援歌

校歌

昭和57年12月15日 校歌作詞完成 清水孝之氏<愛知県芸術大学教授>

昭和58年 2月25日 校歌作曲完成 川崎祥悦氏<日本作曲家協会員>

3月14日 第1回卒業証書授与式で校歌合唱



清水孝之氏



川崎祥悦氏



第1回卒業証書授与式

←紙を見ながら校歌を歌う在校生

手紙
清水孝之氏
川崎祥悦氏

新正し下す。
大慶の至りも、めたくは世の恵いし
（夏） 葉の 枝の
（冬） 雪の 空の
この改訂するも、ありと見いす。自由の
ゆるよろく 花おほす。寒中おほし
花の一の如く 新しす。一月七。 句

←校歌を作詞された
清水孝之先生が初代
太田正敏校長に宛て
た葉書。夏冬の歌詞
の一部変更が記述し
てあります。



第7代長谷川和幸
校長筆<校長室>→

↑校歌を作曲された川崎祥悦先生
からの書簡

昭和58年 4月18日 校歌発表会

校歌発表会

昭和58年4月18日
知立市立知立南中学校

会次第
校旗入場整立
一同礼
開会のことば
学校長あいさつ
PTA会長感謝状贈呈
校歌作詞者 清水孝之先生
校歌作曲者 川崎祥悦先生
校歌指導者 倉重久人先生
制作者のことば
校歌作詞者 清水孝之先生
校歌作曲者 川崎祥悦先生
校歌演奏者
川崎祥悦先生ピアノ演奏
来賓祝辞
生徒代表お礼のことば
閉会のことば
一同礼



↑生徒代表から花束を贈呈
される3名の先生方

→生徒代表に
よる校歌発表



感激の校歌発表会

雨続きの四月中旬でしたが、十八日は穏やかな上天気。待望の校歌発表会でした。お天気までが、すばらしい校歌の発表会を祝っているように思いました。

作詞者の県立芸大教授、清水孝之先生、そして作曲の川崎祥悦先生もはるばる東京から来ていただきました。また、体育館の大きな額に校歌を掲げていただいた日展会友の倉重天祥先生も揃われしました。来賓の戸軽教育長さんを始め市内小中学校の校長先生方、PTAの会長さんをはじめ役員委員の方々。

清水先生や川崎先生から、作曲の意図するもの、校歌の心についてのお話がありました。

校長先生からの謝辞、会長さんからの感謝状贈呈、そして教育長さんからお祝いのことばが教育長さんから生徒達によって校歌は立派に歌われました。本当に立派な校歌です。川崎先生から、ピアノの即興の演奏があり、全校生徒も、来賓もすばらしさに酔いました。生徒会代表から三人の方々に花束が贈呈されました。記念すべき、心に残る一日でした。

校歌発表会
式次第

PTA新聞
「南風」第5号
より

応援歌

昭和58年 近藤佳文先生と野田一裕さん、中本幸志さん3人の手により完成された応援歌



近藤 野田



中本

生徒手帳に
掲載された
歌詞と楽譜
→

知立南中学校応援歌

作詞 近藤佳文
作曲 野田一裕
編曲 中本幸志

一 開けや、我らが雄叫びを
天にとどろき、地に響く
二 見よ、額のご汗を
力の限り、戦わば
四面の敵は、逃げ去りぬ
いざやたえん、我が勝利
知南健児は、無敵なり

1. 明けやわが雄叫びを
2. 見よたえんこののいざや

応援歌

教頭 高井 富夫

「開けや、我らが雄叫びを天にとどろき、地に響く...」知南中の応援歌は、開校二周年に、当時の三年職員と生徒二名の手により誕生したと聞いています。その後受け継がれてきました。その後、継がれてきました。序歌があり、合奏する校歌とともに、卒業生や在校生、職員が大切にしています。私自身も、昭和六十年からの在籍中には、生徒たちと一緒に熱唱し、とても愛着がありました。

ところが、三年前に再び赴任してきたときに聞いた応援歌はどことなく一本調子になっており、別の歌のように聞こえ、思わず自分の耳を疑いました。そこで、同じ年に赴任した本校卒業生の職員ととも

にも、もとの応援歌に戻そうと試みました。まず、市の選手権大会前に壮行の気持ちも込めながら、全校生徒に自分たちが歌ってきた応援歌を聞かせました。今年になって、夏休み中に楽譜を復元し、まずは応援歌を練習しました。

「知南健児は無敵なり」九月十九日、第二十八回体育大会の応援合戦で誕生された応援歌が全校生徒によって青空のもとに響き渡りました。あの当時の内から湧き出る感動が甦ってきました。また、伝統を継承させられたことに安堵しました。

PTA新聞
「南風」
第90号 →